

成田市国民健康保険運営協議会会議概要

1. 開催日時

平成28年1月28日（木）午後2時00分～午後3時40分

2. 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所議会棟 3階執行部控室

3. 出席委員

今井委員、丸委員、椿委員、若村委員、藤倉委員、太田委員、
藤崎委員、富澤委員、宇野澤委員、西山委員、小柳委員、
秋山委員、大三川委員

4. 市側出席者

(執行部)

大木市民生活部長

(事務局職員)

保険年金課

山田課長、石橋主幹、内田給付管理係長、元木主任主事、

大橋主事

納税課

山田課長、宮野徴収係長

5. 議 題 等

(1) 諮問事項

諮問第1号 成田市国民健康保険税条例の一部改正（案）
について

(2) 報告事項

①報告第1号 平成28年度国民健康保険特別会計（事業勘定）
予算（案）について

②報告第2号 平成28年度国民健康保険特別会計（施設勘定）
予算（案）について

③報告第3号 平成28年度国民健康保険事業計画（案）につい
て

6 議事（要旨）

諮問第1号、成田市国民健康保険税条例の一部改正（案）について、
事務局より説明する。

質問 平成30年度に広域化された際の税率と応能・応益割合につい
て教えて頂きたい。

答え 標準保険税率という、県内で統一したルールにより割合が求め
られる。次に、それぞれの地区の医療費や所得水準などを加味
し、調整された保険税率が各市町村に示されるのではないかと
考えている。応能・応益割合についても、保険税率と同様に考
慮されて示されると考えている。

質問 応能・応益割合と上げ幅について、低所得者への影響がおおき
いのではないか。

答え 今回の改正で応能・応益割合は57：43になり、応益割合が2ポイント改善したが、国や県からは50：50を求められている。改正前の割合は応能割合に偏っているため、今回の改正によって千葉県内の平均である56：44に徐々に近づけている。応能・応益割合のバランスは難しいところではあるが、県の平均を目指して少しずつ改正を図っていきたい。

質問 応能・応益割合の上げ幅の根拠は。

答え 世帯の構成、人数、年齢、所得などにばらつきがあるため、1人当たりの調定額は県内最低を維持しつつ、応能・応益割合のバランスを取りながら算定した。

質問 広域化による県内の税率格差への影響について教えて頂きたい。

答え 現在、県内において保険税率の格差が生じているため、最初から標準保険税率を当てはめると、保険税が急に高くなることにより支払が滞る恐れがある。そのため、すぐには県内統一せず、目標として徐々に標準負担税率に移行していくのではと考えている。

質問 広域化など、国保の運営状況に関する周知についての対策を知りたい。

答え 現在、納税通知書とともに送付している国保税についてのチラシの紙面を工夫し、国保の運営状況に関する記載をするよう検討している。また、ホームページや広報に載せるなどの対応も検討している。

質問 今回の税率改正は、30年度の広域化に向けての改正なのか。
また、30年度に向けての最終引き上げなのか。

答え 今回の改正は、直接的に広域化に対応している訳ではない。
また、過去の改正の経緯から、国保税を2年間続けて引き上げることは困難と考えている。

質問 税率改正に際する収納対策について知りたい。また、それに伴い資格者証・短期証の方が多くなるのでは。

答え 収納対策については、差し押さえ件数の増加が成果に繋がると考えているため、今後とも力を入れていきたい。また、口座振替の推進や納税相談などの機会を設け、資格者証や短期証の世帯の縮減を進めていきたい。

質問 なぜ成田市の保険税は安かったのか

答え 一般会計からの繰入金によって保険税が安く保たれているが、繰入金額は年々増加している。

質問 保険税が安いのは、空港関連の補助金に関連しているのか。

答え 成田市の国民健康保険には、約13万の市民のうち約3割程度の方が加入しているが、空港関連の補助金と国民健康保険の運営に関連はないと認識している。

(諮問第1号、成田市国民健康保険税条例の一部改正(案)は
全員賛成により原案のとおり承認される)

答申案について事務局より説明する。

(答申案は全員異議なしで承認される)

報告第1号、平成28年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算（案）について、及び報告第2号、平成28年度国民健康保険特別会計（施設勘定）予算（案）について事務局より説明する。

質問 事業勘定の歳入に関して、繰入金が減ったのは今回の税率改正に関係があるのか。

答え その他一般会計の繰入金についてですが、保険税が税率改正によって増額しているため、その分繰入金は減っている。財政調整基金は、25年度に税率改正をした際に基金を取り崩しているため、現在の残高は50万円弱であり、利息を毎年積み立てている状況である。

報告第3号、平成28年度成田市国民健康保険事業計画（案）について事務局より説明する。

会議の概要は、以上のとおりです。

7 傍聴

1名

8 次回開催日（予定）

平成28年 7月